

令和 6 年 9 月 10 日現在

機関番号：32617

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2020～2022

課題番号：20H01185

研究課題名(和文) dharmadhatu(法界)概念の研究 初期大乘経典・古訳の分析を中心として

研究課題名(英文) Research on the Concept of the dharmadhatu (fajie): Focusing on an Analysis of the Early Mahayana Sutras and Their Older Chinese Translations

研究代表者

藤井 淳(Fujii, Jun)

駒澤大学・仏教学部・教授

研究者番号：00610726

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,000,000円

研究成果の概要(和文)：dharmadhatu(法界)は大乘仏教における重要な真理表現であるが、その概念は研究開始時には明確にされていなかった。本研究では、サンスクリット語・漢文・チベット語で残る複数の文献を比較し、膨大な量の文献を検証材料として用いることで、その概念を明確にすることができた。また、関連する他の真理表現についても分析を加え、dharmadhatu(法界)概念との共通性を見出し、その成果を英文論文集として編集した。本研究の分析の基礎として、『十地経』などの大乘経典の対照表を検索可能な形式で作成し、オンラインで公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

仏教学において、重要な真理概念についての思想的な研究は近年ほとんど行われていない。その中で、仏教の真理表現であるdharmadhatu(法界)に正面から取り組み、文献に基づいてその概念を明確にすることができた。この成果により、仏教を他の思想と比較する上での基盤を提供できたと考えている。また、当該分野では英語論文集を日本人が主として編集することは一般的ではない。そのような状況の中で、今後当該分野で活躍することが期待される中堅・若手の論考を日本人が編集することで、世界に日本の仏教学の存在を広く知らしめることができると考えている。対照表についても試行錯誤を経て、簡明な形で提示することができた。

研究成果の概要(英文)：Although dharmadhatu is an important expression regarding the nature of truth in Mahayana Buddhism, content and significance of the concept had not been completely clarified in previous scholarship prior to this project. In this study, we were able to clarify the meaning of this concept by comparing multiple texts in Sanskrit, Chinese, and Tibetan, and by using a vast amount of literature as material for verification. Other related truth expressions were also analyzed to find commonalities with the concept of dharmadhatu, and the results were compiled into a collection of papers in English. As a basis for the analysis in this study, we have created a searchable table of Mahayana sutras, such as the Dasabhumika Sutra, and made it available online.

研究分野：仏教学

キーワード：法界 十地経 dharmadhatu 仏教の真理 大乘経典 法華経 無量寿経 法身

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 「真理とは何か」これは人間にとって普遍的な問いであり、それゆえ人文学に携わるものにとって正面から扱うべき問いである。しかし、近年の仏教研究の多くは、個々の文献についての成立の研究が精緻な方法で進められるものの、真理を主題とする研究が行われることはほとんどなくなった。しかし、他の人文学の分野と「真理とは何か」について共通の議論を行うためにはそれらの用語がどのような状況で当初成立し、どのような概念を持っていたのかを文献に基づいて可能なかぎり明確にする必要があった。

(2) その中でも本研究は一般に「法界」と訳される dharmadhātu という真理表現について、その初期における理解に焦点を当てることにした。その背景として、近年それを見直すことを可能にする文献研究が進んでいることが挙げられる。一つは dharmadhātu を「法身」「自然」と翻訳する古い時代の翻訳(鳩摩羅什以前の翻訳を「古訳」という)とそれに対応する Sanskrit 文献、Tibet 語訳に基づいた文献研究である。初期大乘経典の古訳は数が多いものの、ほとんど手を付けられていなかったが、近年古訳を文献として扱うための基礎研究が進展し、古訳における dharmadhātu の用例を見直す機会が訪れていた。本研究はそのような背景をもとに開始された。

2. 研究の目的

(1) 本研究は、初期大乘経典において dharmadhātu「法界」という語が使われる文脈を調査し、その概念を分析することを目的とする。dharmadhātu(および dhātu)に関連する重要な指摘としては高崎直道、平川彰らの言及があったが、「界」という漢語や『宝性論』などといった後の大乘論書の解釈を反映させており、文献に基づかない推測も見られ、その問題点を明らかにする必要があった。本研究では文献に基づきつつ、仮説を積極的に議論して検証することとした。

(2) 本研究は、(1)近年の古訳研究の進展や近年公開された(される予定の) Sanskrit 本に基づき、(2)過去の研究者が用いなかったデータベースを活用し、(3)アーガマ/ニカーヤとの関係に留意して、(4)後期の論書の理解や「界」という漢語ではなく、初期大乘経典自体における用法に基づいて、dharmadhātu とそれに関連する用例・概念を整理することとした。

(3) 国際的に欧米・アジアの研究者がそれぞれの専門分野から dharmadhātu の理解について時代や文献による差異や影響関係を分析し、議論することでその概念を明確にしようとした。

3. 研究の方法

(1) 漢文文献に加えて、近年整備が進んできたサンスクリット語文献・チベット語文献のデータベースを用いて、調査対象となる用語を複数の翻訳文献の中で比較する。その比較により、概念の共通性や差異を考察する。

(2) 3年に一度開催される仏教学分野最大の国際学会である国際仏教学会(International Association of Buddhist Studies, IABS)において発表を行い、そこでの質疑を通じて仮説を検証する。ワークショップにおいても同様のことを行う。

(3) Dharmadhātu の概念を考察する上で重要な『十地経』を始めとする大乘経典の対照表(複数の漢訳とサンスクリット語)を整備する。

(4) 英文論文集を単なる編集作業を通じて作成するのではなく、個々の論文について査読者のコメントはもとより、研究代表者・分担者がそれらの内容を熟読して検証する。

4. 研究成果

(1) 2022年8月にソウル大学で行われた第19回国際仏教学会(IABS)において、研究代表者、分担者1名は Convener として、海外の発表者5名とともにパネル発表を行った(コロナ禍のため一部はオンライン参加)。同学会においては研究分担者3名も個人発表を行った。そこにおいて質疑や交流を通じて新たな知見を得た。

(2) 上述の IABS のパネルや個人発表をもとに、加えて 2 名の寄稿によって、合計 8 名の英文論文を研究代表者が編集した。研究代表者・分担者また執筆者は論文の内容を十分に精査・検討した。この論文集は *Dynamic Non-Duality of Dharmadhātu* というタイトルで 2024 年中に Hamburg Buddhist Studies Series として刊行される予定である。

同書の目次と著者は以下のとおりである。(前言・謝辞・著者紹介を除く)

Introduction

Fujii Jun

The Nature of Things and the Nature of Beings:

Dharmadhātu in Relation to Universal Buddhahood in Mahāyāna Sūtra Literature

Christopher V. Jones

“Inborn Nature” (xing 性) and “Instinctive Emotion” (qing 情) in the Earliest Chinese Buddhist Texts

Eric M. Greene

Dharma-Realm as a Modern Concept: The Case of Taixu

Jakub Zamorski

Dharma-Body (dharmakāya) in the Laṅkāvatāra-sūtra

Ching Keng

The Role of the Two Truths in Daochuo’s Understanding of the Pure Land

Michael Conway

On the Four Unthinkableables in the Tathāgataguhyā-sūtra

Hiromitsu Ikuma

The Essence of the Two Truths Is the Middle Way: Jizang’s (549-623) Arguments against the Tiantai Doctrine of the Three Truths

Ernest B. Brewster

Monistic Descriptions of Dharmadhātu and Instantaneous Insight in Mahāyāna Sūtras

Fujii Jun

同書では研究代表者によって Introduction において、dhātu の研究において見落とされていた言及とともに dhātu の概念が明確に位置づけられた。Dharmadhātu (法界) については Jones、Zamorski がそれぞれインドと近代中国の文脈で分析した。研究代表者は総括として初期大乘経典に注目しつつ、広く仏教の展開の中で唯識文献まで視野に入れて dharmadhātu の概念を論じた。Keng と Conway は dharmakāya (法身) の概念を分析し、有為法と無為法に二分する考え方を超える思考が見られると論じた。これは dharmadhātu の概念と共通する。Ikuma (伊久間洋光) は「不可思議」の概念がアーガマから大乘経典へ展開していったことを論じた。Brewster は中国の吉蔵の三諦を智顛の三諦と比較することで、吉蔵の三諦を龍樹の思考からの継承として位置付けた。いずれも真理概念を扱ったことで間接的ながらも dharmadhātu の概念を考える上で重要な視野を提供した。

(3) 『十地経』あわせて『法華経』の一部と『無量寿経』のサンスクリット語と漢訳対照表も作成し、いずれもオンラインで公開した。

(4) オンラインによる研究発表やワークショップを頻繁に開催した。研究開始とコロナ禍は同時に始まったが、オンラインによって国内外の研究者によって活発に議論・研究交流を行った。それらは対面の交流が再開するとその基盤となった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計47件（うち査読付論文 16件 / うち国際共著 4件 / うちオープンアクセス 30件）

1. 著者名 佐々木大悟	4. 巻 72(2)
2. 論文標題 無量寿経類における「易往而無人」の意味について	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 印度學仏教學研究	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐々木大悟	4. 巻 28
2. 論文標題 哲学的立場と教理史的立場 本願寺派教学の見地から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 求真	6. 最初と最後の頁 257-266
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮崎展昌	4. 巻 29
2. 論文標題 建学の精神「大覚円成 報恩行持」の由来・来歴をさぐる 学園の教育目標（標語）の変遷も踏まえながら	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 鶴見大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 27-47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 宮崎展昌	4. 巻 25
2. 論文標題 鶴見大学図書館所蔵品をとおしてみる本邦における仏典の書写・請来・印刷	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 書物学	6. 最初と最後の頁 74-80
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 庄司史生	4. 巻 72(2)
2. 論文標題 注釈史からみた現存般若経諸本	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 印度學佛教學研究	6. 最初と最後の頁 (89)-(94)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 庄司史生	4. 巻 97(別冊)
2. 論文標題 旧本『八千頌般若』復元の試み	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 227-229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michael Conway	4. 巻 15(2)
2. 論文標題 Practice and Other Power in Daochuo's Pure Land Thought	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of East Asian Cultures	6. 最初と最後の頁 1-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 マイケル・コンウェイ	4. 巻 119
2. 論文標題 綽空時代の学び 親鸞の思想形成過程における道綽の影響	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 親鸞教学	6. 最初と最後の頁 20-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Robert F. Rhodes	4. 巻 02-3
2. 論文標題 Japanese Books on Buddhism Published in 2022	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The Eastern Buddhist, Third Series	6. 最初と最後の頁 97-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊久間洋光(代表)、笠松直、庄司史生、鈴木健太、玉井達士、張美僑、宮崎展昌	4. 巻 50
2. 論文標題 『法華経』 Gilgit写本・Kashgar写本・Farhad-Beg写本の新翻刻研究(2): XIV Bodhisattvapathivasamudgama-parivartah (KN. 297.12-300.4)	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 法華文化研究	6. 最初と最後の頁 57-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 伊久間洋光(代表)、笠松直、庄司史生、鈴木健太、玉井達士、張美僑、宮崎展昌	4. 巻 49
2. 論文標題 『法華経』 Gilgit写本・Kashgar写本・Farhad-Beg写本の新翻刻研究: XV Tathagatayuspramana-parivarta?	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 法華文化研究	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 伊久間洋光	4. 巻 45
2. 論文標題 Gilgit写本Larger Prajnaparamitaの翻刻研究(3): fols. 53v-72v	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 大正大学総合仏教研究所年報	6. 最初と最後の頁 1-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 庄司史生	4. 巻 49
2. 論文標題 『三母広注』の菩薩觀	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 法華文化研究	6. 最初と最後の頁 73-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木大悟	4. 巻 147
2. 論文標題 往觀偈 (東方偈) の構造についての一考察 - 特に『無量清浄平等覺經』から -	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 眞宗學	6. 最初と最後の頁 19-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Robert F. Rhodes	4. 巻 2(2)
2. 論文標題 Japanese Books on Buddhism Published in 2021	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Eastern Buddhist, Third Series	6. 最初と最後の頁 97-126
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 庄司史生	4. 巻 86
2. 論文標題 般若經における衆生	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本佛教學會年報	6. 最初と最後の頁 49-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 庄司史生	4. 巻 71(2)
2. 論文標題 般若経注釈文献における如来蔵思想	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 印度學仏教學研究	6. 最初と最後の頁 (138)-(143)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宮崎展昌	4. 巻 104(3)
2. 論文標題 チベット仏教経典資料 チベット大蔵経の保存と活用	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東洋学報	6. 最初と最後の頁 74-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24739/00007692	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井淳	4. 巻 0
2. 論文標題 『大乘起信論』における「本覚」「始覚」の成立について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 花野充道博士古稀記念文集 仏教思想の展開	6. 最初と最後の頁 263-297
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井公成	4. 巻 79
2. 論文標題 家に立つ仏と衆生の身中の「仏性」 - 漢訳『涅槃経』の中国的側面	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 駒澤大学仏教学部研究紀要	6. 最初と最後の頁 208-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石井公成	4. 巻 0
2. 論文標題 仏典漢訳と仏教漢文	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 金文京編『漢字を使った文化はどう広がっていったのか - 東アジアの漢字漢文文化圏』（東アジア文化講座2、文学通信）	6. 最初と最後の頁 217-222
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井公成	4. 巻 特別号
2. 論文標題 華嚴宗はいかにして成立したか	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 駒澤大学禅研究所年報	6. 最初と最後の頁 393-408
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石井公成	4. 巻 0
2. 論文標題 馬鳴菩薩造・真諦三蔵訳『大宗地玄文本論』の成立事情	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 花野充道博士古稀記念文集 仏教思想の展開	6. 最初と最後の頁 215-239
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井公成	4. 巻 92
2. 論文標題 新羅成立の諸経論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 仏教学報（韓国・東国大学校仏教文化研究院）	6. 最初と最後の頁 64-87
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石井公成	4. 巻 0
2. 論文標題 『金剛三昧経論』の成立事情	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東国大学仏教文化研究院HK研究団編『元暁, 文献と思想の新地平』	6. 最初と最後の頁 77-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井公成	4. 巻 19
2. 論文標題 N-gramを用いた文献比較 - 師茂樹氏作ngsm.pl を用いた発見の技法 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 漢字文献情報処理研究	6. 最初と最後の頁 4-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮崎展昌	4. 巻 26
2. 論文標題 金光明経 漢訳諸本の翻訳と伝承に関する諸問題 史伝・経録類にみえる記述を中心として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 鶴見大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 7-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宮崎展昌	4. 巻 26
2. 論文標題 日本古写一切経諸本の相互関係に関する事例研究 阿闍世王経 漢訳二種を対象として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 鶴見大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 263-285
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24791/00000897	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tensho Miyazaki	4. 巻 69-3
2. 論文標題 Collections of Buddhist Scriptures Preserved in Japan: Focusing on the Puchao sanmei jing 普超三昧經, Dharmaraksa's version of the *Ajatasatrukaukatyavinodana	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 印度學佛教學研究	6. 最初と最後の頁 1165-1172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木大悟	4. 巻 143 / 144
2. 論文標題 『無量寿経』末尾の読解について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 真宗学	6. 最初と最後の頁 235-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michael Conway	4. 巻 0
2. 論文標題 Daochuo's Creative Quotation Practices	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Buddha's Words and Their Interpretations (Imre Hamar and Inoue Takami, eds. 真宗総合研究所)	6. 最初と最後の頁 155-169
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Michael Conway	4. 巻 38
2. 論文標題 『教行信証』の英訳の限界と英文注釈書作成の必要性について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 真宗総合研究所研究紀要	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Robert F. Rhodes	4. 巻 0
2. 論文標題 Tiantai Hermeneutics	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Buddha's Words and Their Interpretations (Imre Hamar and Inoue Takami, eds. 真宗総合研究所)	6. 最初と最後の頁 139-153
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 庄司史生	4. 巻 69-2
2. 論文標題 後期インド仏教における正法五千年説	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 印度學佛教學研究	6. 最初と最後の頁 830-825
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊久間洋光	4. 巻 0
2. 論文標題 『菩薩藏經』と『如来秘密經』の対応関係について: 『如来秘密經』梵文写本との比較を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際会議プロシーディング, International Conference on "Esoteric Buddhism and East Asian Society", The University of British Columbia	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大乘経典思想研究会 (伊久間洋光, 共著, 研究会代表)	4. 巻 43
2. 論文標題 Gilgit写本般若經の翻刻研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大正大学総合仏教研究所研究紀要	6. 最初と最後の頁 109-235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井淳	4. 巻 65
2. 論文標題 Problems in research on early Indian Mahayana Buddhism as seen from Chinese doctrinal classifica-tions: With a focus on “Bodhisattva vehicle,” “Buddha vehicle,” and “great vehicle”	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際東方学会議紀要	6. 最初と最後の頁 109-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井公成	4. 巻 26
2. 論文標題 東アジア諸国における『大乘起信論』の受容と展開	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 衆會	6. 最初と最後の頁 392-465
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮崎展昌	4. 巻 142
2. 論文標題 金刻大蔵経の現存版本にみえる契丹蔵からの影響について 高麗蔵再雕本に残された注記を手がかりとして	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東方学	6. 最初と最後の頁 41-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 宮崎展昌 (代表)	4. 巻 70-2
2. 論文標題 大乘仏典研究の遺産と展開 幸嶋先生・ザケッティ先生追悼	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 印度學佛教學研究	6. 最初と最後の頁 820-819
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tensho Miyazaki	4. 巻 27
2. 論文標題 Traces of the influence of the Khitan canon found in the Jin canon: with reference to glosses found in the second Koryo edition of Chinese Buddhist canon	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 鶴見大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 1-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐々木大悟	4. 巻 13
2. 論文標題 浄土経典研究の現状と課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都・宗教論叢	6. 最初と最後の頁 60-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Robert F. Rhodes	4. 巻 1-2
2. 論文標題 Japanese Books on Buddhism Published in 2020	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Eastern Buddhist, Third Series	6. 最初と最後の頁 129-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊久間洋光	4. 巻 44
2. 論文標題 吉慶梵讃と三身讃のギルギット写本	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 大正大学総合佛教研究所年報	6. 最初と最後の頁 179-198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大乘經典思想研究会（伊久間洋光，共著，研究会代表）	4. 巻 44
2. 論文標題 Gilgit写本Larger Pranaparamitaの翻刻研究(2): fols. 38r-52r	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 大正大学綜合佛教研究所年報	6. 最初と最後の頁 71-149
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 庄司史生	4. 巻 70-2
2. 論文標題 後期インド仏教における大乘仏説論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 印度學佛教學研究	6. 最初と最後の頁 (85)-(90)
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 庄司史生	4. 巻 95-別冊
2. 論文標題 立正大学所蔵河口慧海将来梵文『入法界品』写本の来歴再考	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 209-210
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計44件（うち招待講演 9件／うち国際学会 7件）

1. 発表者名 佐々木大悟
2. 発表標題 無量寿経類における「易往而無人」の意味について
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第74回学術大会（第3部会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 建学の精神「大覚円成 報恩行持」の由来・来歴をさぐる一学園の教育目標（標語）の変遷も踏まえながら
3. 学会等名 鶴見大学仏教文化研究所令和5年度公開シンポジウム「総持学園における仏教を基とした教育の歴史と今後の展望?総持学園創立100周年を記念して」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 *Vajramandadharani 金剛場陀羅尼 編纂の背景事情について 経題および?仏伝における記述との関係からの検討
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第74回学術大会（龍谷大学・オンライン）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 近世日本における大蔵經の請来・開版・批判的研究
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第74回学術大会 パネル発表C「江戸時代の仏教文献をめぐる諸相」（龍谷大学・オンライン）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 東洋文庫所蔵写本大蔵經のデジタル化について
3. 学会等名 第9回チベット学情報交換会(金沢大学)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 仏教文献研究としての大乘經典の個別研究 經典の編纂過程および大藏經に関する探求
3. 学会等名 東洋大学文学研究科インド哲学仏教学専攻院生研究発表会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 大乘經典諸本対照表示のためのWebアプリケーション
3. 学会等名 科研費最終集会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 藤井淳
2. 発表標題 dharmadhatu（法界）研究 基礎とその応用
3. 学会等名 科研費最終集会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 注釈史からみた現存般若經諸本
3. 学会等名 日本印度学仏教学第74回学术大会（第2部会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 旧本『八千頌般若』復元の試み
3. 学会等名 日本宗教学会 第82回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 大乘經典研究における本文批判の方法試論
3. 学会等名 第75回日蓮宗教学研究発表大会発表（立正大学）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 インド仏教における般若經解釈の二つの系譜
3. 学会等名 日蓮教学研究所第1回月例研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊久間洋光
2. 発表標題 Gilgit写本般若經における百八三昧について
3. 学会等名 日本印度学仏教学第74回学術大会（第2部会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊久間洋光
2. 発表標題 法華經写本研究の現状
3. 学会等名 立正大学仏教学部公開授業（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐々木大悟
2. 発表標題 『親鸞 その人間・信仰の魅力』書評会 / 哲学的立場と教理史的立場 本願寺派教学の見地から
3. 学会等名 田辺元記念哲学会 求真会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 チベット仏教經典資料 チベット大蔵經の保存と活用
3. 学会等名 2022 年度前期東洋学講座(オンライン開催) 「チベット研究の現在と未来 デジタル技術による文化の保存と継承」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 仏教研究におけるオンラインリソース(研究資源)および「大乘經典諸本対照テキスト」サイトと関連プロジェクトの紹介
3. 学会等名 立正大学仏教学部仏教文化公開講座「未来を照らす仏教の叡智 - 未来へつなく法華經の世界 -」パネルディスカッション(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 Relationships among the Namgyal and Lang manuscript collections in Nepal and the Mustang Kangyur group: Regarding the *Ajatasatrukakrtyavinodana, CANONS
3. 学会等名 CANONS, KANJURS, AND COLLECTIONS Multidisciplinary Approaches in the Study of Tibetan Canonical Literature: A Symposium in Honour of Helmut Tauscher (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 藤井淳
2. 発表標題 空海『聾瞽指帰』と古代日本神話
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第73回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 藤井淳
2. 発表標題 The relationship between “mind” and dharmadhatu: Focus on the source of Agama/Nikaya in the Dasabhumika Sutra
3. 学会等名 IABS 20th conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊久間洋光
2. 発表標題 On the Tathagataguhya-sutra
3. 学会等名 IABS 20th conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊久間洋光
2. 発表標題 仏教学における写本研究の現状と法華経梵文写本研究の今後
3. 学会等名 立正大学仏教学部仏教文化公開講座「未来を照らす仏教の叡智 - 未来へつなぐ法華経の世界 - 」パネルディスカッション(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊久間洋光
2. 発表標題 On the Four Unthinkable Topics in the Tathagataguhya-sutra
3. 学会等名 Guest Lecture at Heiderberg Centre of Transcultural Studies at Ruprecht-Karls-Universitaet Heidelberg (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊久間洋光
2. 発表標題 On the Four Unthinkable Topics in the Tatagataguhya-sutra and Its Influence on Early Mah?y?na Notions of Buddhahood
3. 学会等名 Guest Lecture at The Doctoral Program in Buddhist Studies at the Ludwig-Maximilians-Universitaet in Munich (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 On the Manuscripts of Two Versions of the Tibetan Translation of the Astasahasrika Prajnaparamita Imported to Japan by Tada Tokan
3. 学会等名 IABS 20th conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 般若經注釈文献における如来蔵思想
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第73回学術大会（第3部会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 仏教学における法華經研究の現状と課題
3. 学会等名 立正大学仏教学部仏教文化公開講座「未来を照らす仏教の叡智 - 未来へつなぐ法華經の世界 - 」パネルディスカッション
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 『三母広注』の菩薩觀
3. 学会等名 第74回日蓮宗教学研究発表大会発表（日蓮宗宗務院第二会場）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Michael Conway
2. 発表標題 The Role of the Two Truths in Daochuo ' s Understanding of the Pure Land
3. 学会等名 国際仏教学会第19回大会（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 藤井淳
2. 発表標題 仏教における真理表現 「本覚」起源、「本無」「自然」の訳語、『三教指帰』について
3. 学会等名 駒澤大学仏教学会第1回研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 日本古写一切経諸本の相互関係 阿闍世王経 漢訳2種を対象として
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第 71 回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Michael Conway
2. 発表標題 緯空時代の学び 親鸞の思想形成における道緯の影響について
3. 学会等名 大谷大学真宗学会例会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 後期インド仏教における正法五千年説
3. 学会等名 日本印度学仏教学会第 71 回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤井淳
2. 発表標題 中国の教判から見るインド初期大乘研究の問題点 「菩薩乘・仏乘・大乘」を中心に
3. 学会等名 第65回国際東方学会議（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 般若經写本研究の現状と課題
3. 学会等名 印度学仏教学会第72回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々木大悟
2. 発表標題 古訳浄土經典研究の展開
3. 学会等名 印度学仏教学会第72回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤井淳
2. 発表標題 初期漢訳經典への「道家の影響」の再検討
3. 学会等名 印度学仏教学会第72回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 後期インド仏教における大乘仏説論
3. 学会等名 印度学仏教学会第72回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 般若經における衆生
3. 学会等名 日本佛教学会2021年度 第90回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 庄司史生
2. 発表標題 立正大学所蔵河口慧海将来梵文『入法界品』写本の来歴再考
3. 学会等名 日本宗教学会第80回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藤井淳
2. 発表標題 空海『聾瞽指帰』撰述の意図 氏族と時代背景からの考察
3. 学会等名 駒澤大学仏教学会第4回定例研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宮崎展昌
2. 発表標題 Webアプリケーションフレームワークを利用した大乘經典諸本対照サイトの構築：今後の課題と構想も含めて
3. 学会等名 東洋文庫研究データベース会議
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Fujii Jun
2. 発表標題 About our Origins and Future Prospects: Periphery as Center: Possibilities and Challenges for Post-COVID Digital Workshops
3. 学会等名 The 2022 Annual Conference of the Association of Asian Studies (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊久間洋光
2. 発表標題 吉慶梵讃と三身讃のギルギット写本
3. 学会等名 第50回豊山教学大会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計4件

1. 著者名 宮崎展昌	4. 発行年 2023年
2. 出版社 起心書房	5. 総ページ数 388
3. 書名 蔵文和訳 阿闍世王経	

1. 著者名 赤尾栄慶・杉本一樹・落合俊典・長尾杏樹・宮崎展昌	4. 発行年 2024年
2. 出版社 国際仏教学大学院大学 日本古写経研究所	5. 総ページ数 254
3. 書名 日本古写経善本叢刊 第十一輯 国宝 金剛場陀羅尼経	

1. 著者名 高満也、鍋島直樹、那須英勝、杉岡孝紀、殿内恒、玉木興慈、井上善幸、高田文英、井上見淳、佐々木大悟、能美潤史、打本弘祐、武田晋、岩田真美、内田准心、内手弘太	4. 発行年 2024年
2. 出版社 永田文昌堂	5. 総ページ数 484
3. 書名 龍谷大学真宗学一〇〇年史	

1. 著者名 藤井淳	4. 発行年 2022年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 211
3. 書名 空海『三教指帰』: 桓武天皇への必死の諫言	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>大乘經典対照表 https://mahayana-scriptures.com/ 八千頌般若の梵蔵語彙集サイト(構築・公開の支援) https://prajna.toyo-yumba.net/</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	R h o d e s R o b e r t (Rhodes Robert) (00247769)	大谷大学・文学部・名誉教授 (34301)	
研究分担者	庄 司 史 生 (Shoji Fumio) (00632613)	立正大学・仏教学部・准教授 (32687)	
研究分担者	石 井 公 成 (Ishii Kosei) (10176133)	駒澤大学・付置研究所・研究員 (32617)	2023年辞退
研究分担者	佐 々 木 大 悟 (Sasaki Daigo) (50748316)	龍谷大学短期大学部・その他部局等・准教授 (44317)	
研究分担者	伊 久 間 洋 光 (Ikuma Hiromitsu) (60869709)	大正大学・総合仏教研究所・研究員 (32635)	
研究分担者	C o n w a y M i c h a e l (Conway Michael) (70549526)	大谷大学・文学部・准教授 (34301)	
研究分担者	宮 崎 展 昌 (Miyazaki Tensho) (70773729)	鶴見大学・仏教文化研究所・准教授 (32710)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	内記 理 (Naiki Satoshi) (90726233)	愛知県立大学・日本文化学部・准教授 (23901)	
研究協力者	笠松 直 (Kasamatsu Sunao) (40510558)	仙台高等専門学校・総合工学科・准教授 (51303)	
研究協力者	壬生 泰紀 (Mibu Yasunori) (34316)	龍谷大学・文学部 仏教学科・講師 (34316)	
研究協力者	林 乾 (Lin Qian)	青島大学・歴史学院・副教授	
研究協力者	李 子捷 (Li Zijie)	西北大学・歴史学院・准教授	
研究協力者	渡辺 章悟 (Watanabe Shogo) (50277349)	東洋大学・文学部・名誉教授 (32663)	
研究協力者	Z a m o r s k i J a k u b (Zamorski Jakub)	ヤゲロニアン大学	
研究協力者	L e e S a n g m i n (Lee Sangmin)	東国大学校	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	Golding Corin (Golding Corin)	国際仏教学大学院大学 (32697)	
研究協力者	Girard Frederic (Girard Frederic)	フランス極東学院 ・名誉教授	
研究協力者	Felbur Rafal (Felbur Rafal)	ライデン大学	
研究協力者	Kaufmann Paulus (Kaufmann Paulus)	ミュンヘン大学	
研究協力者	外村 中 (Sotomura Ataru)	ヴェルツブルク大学	
研究協力者	前川 健一 (Maegawa Ken'ichi) (20422355)	創価大学・文学研究科・教授 (32690)	
研究協力者	李 尚曄 (Lee Sangyop)	ソウル大学・哲学科・助教	
研究協力者	Zimmermann Michael (Zimmermann Michael)	ハンブルク大学・アジア・アフリカ研究所・教授	

6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	Radich Michael (Radich Michael)	ハイデルベルグ大学・教授	
研究協力者	范 慕尤 (Fan Muyou)	上海交通大学・人文学院・副教授	
研究協力者	Doell Steffen (Doell Steffen)	ハンブルク大学・アジア・アフリカ研究所・教授	
研究協力者	Lee Youngjin (Lee Youngjin)		
研究協力者	Brewster Ernest (Brewster Ernest)	ラトガース大学	
研究協力者	Proffitt Aaron (Proffitt Aaron)	ニューヨーク州立大学オールバニ校・准教授	
研究協力者	Groner Paul (Groner Paul)	ヴァージニア大学・名誉教授	
研究協力者	師 茂樹 (Moro Shigeki) (70351294)	花園大学・文学部・教授 (34313)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	村上 明也 (Murakami Akiya) (70868596)	駒澤大学・仏教学部・講師 (32617)	
研究協力者	Jones Christopher (Jones Christopher)	ウィーン大学・助教	
研究協力者	Greene Eric (Greene Eric)	イエール大学・准教授	
研究協力者	耿 晴 (Keng Ching)	台湾大学・副教授	
研究協力者	Kim Taesoo (Kim Taesoo)	大晋大学	
研究協力者	小坂 有弘 (Kosaka Arihiro)	大正大学・学振PD研究員	
研究協力者	Muller Fabien (Fabien Muller)	ハーバード大学	
研究協力者	田中 裕成 (Tanaka Hironori) (50912408)	佛教大学・仏教学部・講師 (34314)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	久間 泰賢 (Kyuma Taiken) (60324498)	三重大学・人文学部・教授 (14101)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 Negation and Truth in Buddhist Philosophy Workshop	開催年 2023年～2024年
国際研究集会 IABS（国際仏教学会）	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 最澄と顕戒論（伝教大師最澄没後1200年記念国際ワークショップ）	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 The Expressions of Ultimate Truth in Buddhism（仏教の真理表現）online workshop	開催年 2021年～2021年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
米国	Yale University	Iona University	University of Albany	他1機関
中国	上海交通大学	西北大学	青島大学	
ポーランド	Jagiellonian University			
ドイツ	Heidelberg University	Munich University	Hamburg university	他1機関
韓国	忠北大学校	Seoul National University	東国大学校	他1機関
英国	Cambridge University	SOAS		
オランダ	Leiden University			
台湾	Taiwan University			
フランス	フランス極東学院	Ecole Pratique des Hautes Etudes		